

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援センター『ばんばんLab.』		
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月 27日		～ 令和 7年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 40
○従業者評価実施期間	令和 7年 1月 27日		～ 令和 7年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 3日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	◎職員の対応 ・手厚い支援と熱心な対応や細やかな気配り、笑顔と温かい対応を行っていることについて評価していただいている。	・職員が、お子さん一人ひとりに寄り添いながら『安心できる関係づくり』や特性に合わせた『個別対応』を行い、お子様の成長や変化をご家族と共有しながら一緒に思いを共有している。	・引き続き、その日のお子さんの様子や保護者のニーズなどをミーティングで共有していく。 ・今後も他機関との連携を活性化し、情報の共有を行っていく。 ・社内研修だけではなく、様々な研修に参加し、より良い支援に繋がるよう努めていきます。
2	◎お子さんに寄り添った支援 ・各種アセスメント(フォーマル、インフォーマル)や特性に応じた個別支援計画を作成していることなどに評価していただいている。	・保護者さんからの情報提供や様々なアセスメントツールを使った分析からお子さんの強みや弱みを把握しています。 ・『どのような関わりで安心するか』『苦手な活動(課題)は何か』などの情報を職員や保護者と共有し、日々の支援に活かしている。	・今後も継続して、定期的なアセスメントを行い、お子さんの特性や強みを把握し、各活動でお子さんが成功体験を積み重ねることが出来るよう努めていきます。 ・引き続き、お子さんの発達段階に合わせた個別支援計画や専門的支援実施計画を作成し、日々の支援で提供していく。
3	◎楽しく学べる環境や活動(課題) ・お子さんの特性やその日のコンディションに合わせて、構造化された環境を整えていることやお子さんが楽しめる活動(課題)などを評価していただいている。	・用途別に空間を分けて構造化しており、お子さんの特性に応じて可視化されたスケジュールや手順書、トークンなどを活用している。 ・集団療育や個別療育前に予め開始時間や内容を予告したり、活動順や量、参加の方法などをお子さんと相談している。	・引き続き、楽しく学べる環境を整える為、スタッフ全員がTEACCHプログラム研究会に所属し、構造化やお子さんの対応方法などについて学び、支援を統一していきます。 ・当事業所だけではなく、家庭や所属園などでも般化できるようサポート方法を検討していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○家族、きょうだい支援について ・保護者さんやきょうだい児の交流会(勉強会等)は、ここ数年コロナ禍だったこともあり回数を減らして実施してまいりました。 ・令和6年度は、3回実施済み。	・引き続き、令和7年度も保護者さん同士の情報共有や勉強会、利用児さんやきょうだい児さんの向けの交流イベントを実施し、地域で過ごす家族を繋げられる交流の場を整えていきます。	・家庭でできる支援方法のアドバイスやワークショップ、ばんばんCafé(保護者会)やその他イベントなどの企画。
2	○駐車場について ・午後クラスの利用児さんが増加していることから送迎時の駐車スペースが足りなくなる事案が発生し、ご迷惑をおかけしております。	・特に、保護者さんと対面でその日の療育内容やお子さんのFBを行っている為、お迎え時に混み合っている。	・引き続き、番号札で順番にFBしていき、駐車場が混み合っている場合は、職員が駐車場で誘導を行っていきます。 ・また、お迎え時に伺っている保護者さんの相談については、なるべく日程調整して事務所で相談を受けるようにしていきます。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こども発達支援センター『ばんばんLab.』

公表日 令和 7年 3月 3日

利用児童数 令和 7年 3月 3日

回収数 37

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見/ご感想	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されている と思いますか。	31	6	0	0	・スペース的に難しい部分もあるかと思いますが、 もう少し運動できる所や、外で身体を動かす機会が あればいいと思います。 ・個別での勉強部屋があり、集中して出来て良いと 思います。 ・個別スペースと集団スペースが程よく離れてお り、また遊ぶスペースも分けられていることから、 切り替えがしやすい空間作りをしていると思 います。 軽い運動のできるスペースがあるとありがたいで す。	・お子さんの過ごすエリアを構造化して いることで、身体を動かすスペースを確 保することが難しくなっておりますが、 お子さんが安全に身体を動かすことがで きるような配置や活動を準備していきま す。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	37	0	0	0	・みんな気さく ・今は同時に活動する子の人数が少ないと思うの で、我が子にもしっかり目が届いていると感じてま す。 ・入口にその日の先生や、ワークの先生には印が してあり、わかりやすくしてくれている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環 境になっていると思いますか。また、事業所の設備 等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝 達等への配慮が適切になされていると思いますか。	34	1	0	2	・見通しがたちやすい工夫がきちんとされていると 思います。 ・靴を脱ぎやすくイスが置いてあったり、次のバン バンの日をカレンダーで見せてくれ、予定の見通し や確認の習慣付けをしてくれている。 ・駐車場と隣接しているが、子どもに合わせた配慮 があり安心出来る	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっ ていると思いますか。また、こども達の活動に合わ せた空間となっていると思いますか。	36	0	0	1		
適 切	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が受けられていると思いま すか。	37	0	0	1	・迎えに行くと詳しく何をしたかななどを教えて頂 き、色んなことをしてくれているのかが分かります。 特性を理解して保護者にも出来る支援方法や心づも りなどをわかりやすく教えてくれる。 ・定期的にあセスメントをし、子どもの発達段階に 応じた支援をしてくれている。 ・こどもの特性に特化した個別対応よりはある程度 決まったプログラムのように感じます。 ・子供の特性をどの先生もよく分かってくさって おり、適切な支援をしていただいております。 ・利用者は不安が強いタイプですが安心できるよ うな声掛けをいつもしていただき、有難いです。 ・専門の職種の方がしっかりと子どもをサポートし てくれているので良いです ・毎回のお迎え時の説明ですごく感じます。いつも ありがとうございます。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の 提供する支援内容と合っていると思いますか。	36	1	0	0	・言語聴覚士など専門家が配置されているがすべて 人が利用できるわけじゃないことを明記するべきだ と思う。	・現在、言語聴覚士の職員は、午前クラ スをメインに担当していただいております。 引き続き、面談希望の方につきましては、 順番にご案内させていただいており ます。

な 支 援 の 提 供	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	36	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的な視点から、子どもがどこに困り感を感じているかを教えてくれ、それに合った支援をしている。</li> <li>・苦手な部分においては課題に入る前に、さらくだいて様子を見ながら、子どもが取り組めるように工夫してくれている。</li> <li>・私よりよく見てくださっていると感ずます。とても助かってます。</li> </ul>	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	34	0	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちょっとよく意味がわかりませんでした</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も引き続き、ガイドラインに沿った個別支援計画や支援を行ってまいります。</li> </ul>
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	36	0	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ものすごく満足している、</li> </ul>	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	35	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月または季節に合わせたプログラムを実施してもらっている</li> <li>・季節や入学準備段階に応じた内容になっている。</li> <li>・夏のお祭りや、季節感のある製作をしている</li> </ul>	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	18	5	2	12		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	36	1	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	37	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても分かりやすく教えて下さり助かりました。</li> <li>・子どもの性格を理解して進めてくれていて、出来るようになったこと、頑張っているところ、つまづきなども前向きに説明してくれている。</li> </ul>	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	31	2	0	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアトレなどは実施される頻度がもう少しあると有難いです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、ペアトレご希望の方は、専門職員が担当して対応させていただきます。</li> </ul>
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	36	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育日には丁寧にフィードバックしてもらい、相談もしやすい</li> <li>・ファイルでのやり取り、利用後の報告などで子どもの普段の様子をととても気にしてくれていると感じる。また、集団活動や友達との関わり方など、親の見えていない所での活動状況を、動画や専門的な視点で客観的に説明してくれることがとても分かりやすく助かっている。</li> </ul>	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	34	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談という形でなくてもお迎え時のお話で大分解消されています。</li> </ul>	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	34	1	0	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日前向きに子どもに向き合おうと思っているが、そももいかない事が多くへこんでしまうが、そういった気持ちにも寄り添ってくれ声かけをしてくれるので気持ちが軽くなります。</li> </ul>	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19	7	0	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加したことがないのでよくわかりません</li> <li>・参加できる会があれば、もっと参加したい。</li> <li>・きょうだい向けのイベントはなかったように思う</li> <li>・他の人がどうしているか知る機会があり、孤独感が減る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度は、ばんばんCaféを3回実施させていただきました。引き続き、来年度も交流の場を設けられるよう体制を整えていきます。</li> </ul>
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	32	1	0	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだそういう場面に出会ってないのでわかりませんが対応してくれると思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もお子さんのことや育児の悩み、就学に向けてなど、どんなことでも構いませんので、相談していただければと思います。送迎時は、時間に限りがあることから事務所で面談対応させていただきます。</li> </ul>	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	35	1	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	31	2	0	4	・業務に関する自己評価がわかりません	・引き続き、ホームページにて事業所評価アンケートなどの結果を公開していきます。 ・また、Instagramやリタリコ発達ナビを中心にSNSに当事業所の様子などもアップしていく予定となっております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	36	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29	0	0	8		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	2	0	18	・避難場所などの説明がきちんとありました。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33	1	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	2	0	6	・怪我をした時の状況、処置などの説明がきちんとあります。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	34	3	0	0	・はじめは緊張が強く行き渋りが見られたが今は安心して通っている。先生に対して、信頼している様子も見られる。	・引き続き、お子さんが安心して通える環境を整え、いただいたご意見をもとに、より良い支援を提供できるよう努めてまいります。 アンケートへのご協力ありがとうございました。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	32	4	1	0	・基本的には楽しみにしていますが、不安感が強いので毎回来所時はドキドキすると言ってます。 ・バンバンが一番の楽しみになってます。日頃関わってくださる先生方のおかげだと思ってます。 ・とても楽しみにしています ・今日は、〇〇先生いるかなー、この前お休みだった、等のお話がでるし、バンバンの近くを通る時も先生いるかなーと気にしている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	35	0	1	1	・他の事業所にも通ってあるので、相互間で様子などを共有して頂けたら、より良い支援に繋がると思います。 可能であれば、一年に一回でも参観日の様な短時間開催があると嬉しいです。 ・言語支援のようなプログラムがあれば尚嬉しいです。 ・通うようになって子どもの困りが明確に見えてきて、接し方や声かけのアドバイスを頂く事で日常生活がとても楽になりました。本人も園生活が楽しめるようになり、楽しそうに通っている姿を見て嬉しい。	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こども発達支援センター『ばんばんLab.』	公表日 令和 7年 3月 3日
------	-----------------------	-----------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用児が8人になると狭い。</li> <li>・プレイエリアに年長児8人揃う日は、手狭に感じることもあるが、定員数は守られている。他者と距離が近くなることで、利点もあった。</li> <li>・1回に受け入れられる人数の再検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、年長児クラスのご希望が多く、10月以降は午後クラスに利用児8名を受けている。</li> <li>・定員数は守られているが、1回に受けられる人数を再検討していく。</li> </ul>
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元々職員数は多めに配置しているが、系列の事業所へフォローに行くなどのイレギュラーが起こると足りなくなることある。</li> </ul>	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用児が過ごす空間は、構造化されており、利用児向けに時計メモや個別のスケジュール(手順書)、イヤーマフなどを活用している。</li> <li>・医療ケア児や歩行困難な子どもを受け入れるとなった際にはベビーゲートの使用方法を検討するべき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、お子さんの特性や状態に合わせた環境面を配慮していく。</li> </ul>
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね午前、午後の2回掃除や消毒などを行っている。</li> </ul>	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テントを設置してカムダウンエリアにしている。</li> <li>・テントの設置はあるものの、自分から使用できていく児はごく一部である。今後は選択肢として子どもに伝えていく必要があると感じている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度途中からカムダウンエリアを使用しておりますが、利用方法について利用児に対し引き続き周知していく。</li> </ul>
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状は、自分の意見を言えないこともあるため、今後は発信できるように努力していく。</li> <li>・MTGや朝礼、昼礼などで、話し合いながら参画している。</li> </ul>	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者向け評価のこれまでの結果を知らないため。</li> <li>・毎年、ご意見やご感想、意向などを伺っており、その都度業務改善してきている。</li> </ul>	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日行っている朝礼、昼礼や毎月のMTGで話し合いを行ったり、直接対面で言うことが難しいこともあるので、紙ベースでの職員アンケートも実施している。意見をまとめて、業務改善に動いている。</li> </ul>	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、外部評価を行っていない。1月に実地指導はあった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な外部評価を行えるようにしていく。</li> </ul>
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人内での勉強会や研修の実施あり。</li> <li>・職員が参加したいと思う研修や勉強会には、積極的に参加できるような環境を整えている。</li> </ul>	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公開済み。</li> </ul>	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの様子やアセスメント結果、保護者のニーズ、職員の見立てなどを分析して計画を作成している。</li> </ul>	

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	・担当者会議で職員から意見を集めたり、朝礼や昼礼での子どもの様子や保護者ニーズなどの聞き取りを考慮している。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	・計画に沿った支援を提供できるよう、支援記録(連絡帳)に個別支援計画や専門的支援実施計画を記載している。 ・計画作成後に職員間に共有している。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	3	・NCプログラムを始め、多様なツールを使って利用児の評価を行っている。
	16	児童発達支援計画には、「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	・具体的な支援内容を設定している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	・毎月のMTGで行っている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	・今年度初めてした活動もあり、なるべく固定化しないように利用児に合わせて検討している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	・利用児の負荷や拒否が強くないよう活動(課題)を設定できるようにしている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	・朝礼、昼礼で行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・朝礼、昼礼で行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	・細かく細分化された支援記録(連絡帳)や業務日誌に記録し、支援の検証や改善に繋げている。
23	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・定期的なモニタリングを実施している。	
関	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・直接支援している職員の見立てやサポート方法も確認して、参画している。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	・その都度、関係機関との連携を図っている。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	・必要に応じて、情報提供や共有をしている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・当事業所ので様子やサポート方法を引き継ぎ書にまとめて情報共有を行っている。
		(28～30は、センターのみ回答)			

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1	・あまりそのような機会を設けたことはないが、必要に応じて今後は機会を設けていきたい。	・センターの方や専門職のスーパーバイズや助言を受けられる機会を設けていく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	・近所の公園に行くことが年に数回あるので、通学路の見守りをしているシルバーさんや小学校、公園の利用している方と接することはある	・地域で過ごすお子さんとの関わりが増える機会を設けていく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・主に、お迎え時FBにて行っている。必要に応じて、家族支援加算やモニタリングなどで対応している。保護者には、利用児の動画も準備して見てもらっている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	・今年度も数回に分けて保護者向けの茶話会などを行っている。	
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・契約時に契約書を読みながら丁寧に説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・モニタリング時などに意向を確認している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	その場でアドバイスしたり、職員間で共有し返答したりしている。面談希望も適宜対応している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3	・きょうだい同士の交流機会はない ・今年度は、コロナ禍が明けて数年ぶりに茶話会を実施している。	・令和7年度もきょうだい児も含めた保護者会やイベントなどの企画を検討していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1	・その都度、迅速な対応を心がけている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	・SNSや公式LINEを活用して発信を行っている。	・引き続き、定期的にSNS等を活用して、発信していく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	1	・契約時に個人情報に関する事も細かく確認しているので、十分気を付けている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	2	・利用児の負荷や拒否、不安が強い事柄は、利用児や保護者とよく相談し、量や回数、参加の方法などを確認している。 ・支援記録(連絡帳)や公式LINE、電話などで配慮を行っている。	

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	・そのような機会はあまりない。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	3	・今後も継続して実施していく。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	2	・毎年、様々な災害を想定した訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・服薬や発作については、契約時に必ず確認している。 ・支援記録や来所時に保護者に確認を行っている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3	・指示書の提出は任意で依頼している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	2		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	3		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	・ヒヤリハットを活用しながら検討している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	・毎年、研修を行い共通認識を高めている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	2	・そのような状況が起こり次第、対応している。	



公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援センター『ぼんぼんLab.』		
○保護者評価実施期間	令和7年2月10日		～ 令和7年2月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和7年2月10日		～ 令和7年2月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	令和7年2月10日		～ 令和7年2月25日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性や発達にしてよく理解している	・ 児童発達支援と一体運営をしていることから、事業所通所時にお子さまのことについて細かくアセスメントをするようにしています。	園と事業所では生活環境が違うことから、困ることや配慮できることに違いがありました。今後は特性理解シートを活用して、環境の違いがあってもまずはお子さまの行動を理解してもらえようとし、そこから配慮に繋がれるようしていきます。
2	園や学校の先生に専門的で多角的な視点や支援方法を提案することができる	・ 職員の外部研修の参加 ・ 訪問支援の事例検討を法人内の別の訪問支援員と検討していく	現在は訪問支援員を実施している職員と児童発達管理責任者での事例検討をしていましたが、今後は児童発達支援事業に携わる職員にも参画をしていただきより多角的な検討をしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ 訪問支援の頻度が希望より少ない。	児童発達支援と一体的な運営をしていることが強みではありますが、その分訪問支援員が直接療育にも携わる分、全ての希望通りに訪問ができていない。	訪問支援のニーズが広がっていることから、職員の増員・強化を目指していきたい。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	こども発達支援センター『ぼんぼんLab.』
------	-----------------------

公表日 令和7年 3月 10日

利用児童数

14

令和7年 2月 25日

回収数 10

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	7	0	0	3	・園生活の話を聞くと、普段どのように生活しているのか行事のときしかわかりませんが、話を聞くと我が子がそんなふうに行っているのだと新発見があります。	
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	10	0	0	0		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	10	0	0	0	事前に資料で訪問支援について説明を受けてから希望をしました。	
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	7	3	0	0	・話し合いはしていますが、もっと訪問してくれたらいいなと思います。	・訪問の頻度や1回の支援時間が長くできるよう職員の増員、育成をしています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	8	2	0	0		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	0	0	0	・いつも丁寧な説明をしていただき、親子共々安心しています。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10	0	0	0		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	7	0	0	3		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	0	0	4	・ガイドライン？というのがよくわかりません。	・ガイドラインをそのまま説明するとわかりにくくなるので、違う形で説明をしていました。説明方法の改善に努めます。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	0	0	0		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	7	0	0	3		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	0	0	0		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	0	0	3		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	8	2	0	0	・茶話会やセミナーがありました。	
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	10	0	0	0	・うちの子のことをよく理解していただいています。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	0	0	0	・ぼんぼんさんを利用の度に色々と話を聞いていただいています。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	0	0	0		
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	0	0	0		
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	0	0	0		
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	10	0	0	0			

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	7	0	0	3		・限られた時間でのフィードバックになるので、全てをお伝えできていなかったかもしれません。よりわかりやすいフィードバック方法を検討していきます。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	10	0	0	0		
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	0	0	5	・インスタで時々ばんぼんでの様子を見えています。	・訪問支援での活動報告は外部との守秘義務の兼ね合いから、ご家族のみとしています。自己評価についてはホームページにて公開をしています。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	0	0	0		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	8	0	0	2		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	0	0	2		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	10	0	0	0		
	28	事業所の支援に満足していますか。	10	0	0	0		

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和7年 3月 10日

こども発達支援センター『ばんばんLab.』

利用児童数

14名

令和7年 2月 25日 回収数 7

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	6	1	0	・子どもの姿をどう評価するか、どのようなステップを準備していくか様々な視点を提供してくれます。	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	6	1	0	・支援計画や各種資料を基に話をさせていただいて勉強になりました。	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	7	0	0	・尋ねたこと、相談したことにはしっかり答えてくれています。 ・ともに悩み考えてくれるので良い機会をいただいています。	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	6	0	1	・全てが解消されることは難しいですが、話を聞いてもらうだけでも気持ちが楽になります。 ・療育の場との環境の違いもあることから、助言を中々生かせないことがあります。	・お子さまが生活している環境が異なる分、全てがうまくいくわけではないこと、どうしても時間がかかることがあります。より具体的に効果検証をしていける方法を検討していきます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	6	1	0	・できることならもっとたくさん来てほしい。 ・行事の練習や取り組みの方だけでなく、普段の生活への支援方法を知ることができた。	・訪問頻度については増やしてほしいという声がたくさんありました。職員の増員をしていますが、訪問支援員として外部で支援ができるまでの知識経験を積むにはもう少し時間がかかりそうです。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者との信頼関係を築くのに仲介をもらって助かっています。療育と園が同じ思いで言っていると伝わるように助言、伝達していただきたいです。</li> <li>・訪問支援を通して、ばんばんの先生方に専門的な視点で見ていただき子どもたちの姿や課題等、多面的に捉える大切さを学ぶことができました。</li> <li>・療育先としてばんばんさんを利用していないのに、訪問支援だけを利用する必要はあるのかなと思いました。</li> <li>・園に訪問に来られた時は、隠れてみてもらった方が子どもの普段の様子を見てもらえたのかと思います。先生が来ると子どもがはりきってしまうので。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問支援を実施することで、訪問先の先生方が一人で悩むことが少なくなった、様々な専門的な知識を得ることができたというご意見をいただきました。お子さま一人ひとりがよりイキイキと園・学校生活を送れるよう今後も精進してまいります。</li> </ul>	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こども発達支援センター『ばんばんLab.』		公表日		令和7年 3月 10日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2	0			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	0			
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	2	0			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	2	0			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	1	1	保護者や訪問先の評価については今年度より始めていま す。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	2	0			
適切な 支援の 提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	2	0			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	0			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2	0			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	2	0			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	2	0	今後は特性の理解シートを活用し、環境が違って共通 していることや起きやすい困り感を配慮点の共有につい て具体的な改善をしています。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	2	0			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	2	0			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	2	0			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	0			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	2	0			
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	2	0				

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	0		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	0		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	0	訪問支援と児童発達支援を一体的に運営をしているので、移行時には両方の様子について共有をしています。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	0	2	職員の外部研修は積極的にしていますが、外部の専門機関からのアドバイスを受ける機会を設けることができませんでした。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	0		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2	0		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	0	児童発達支援事業と一体して取り組んでいます。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2	0		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	0		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	0		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0		
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	0		
訪問先	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2	0		

施設への説明等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2	0		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	0		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	0		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	0		